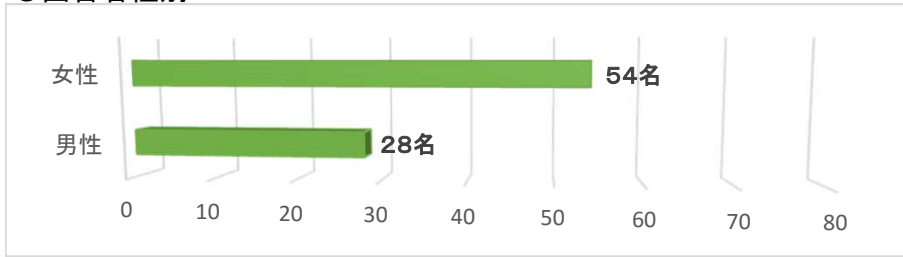


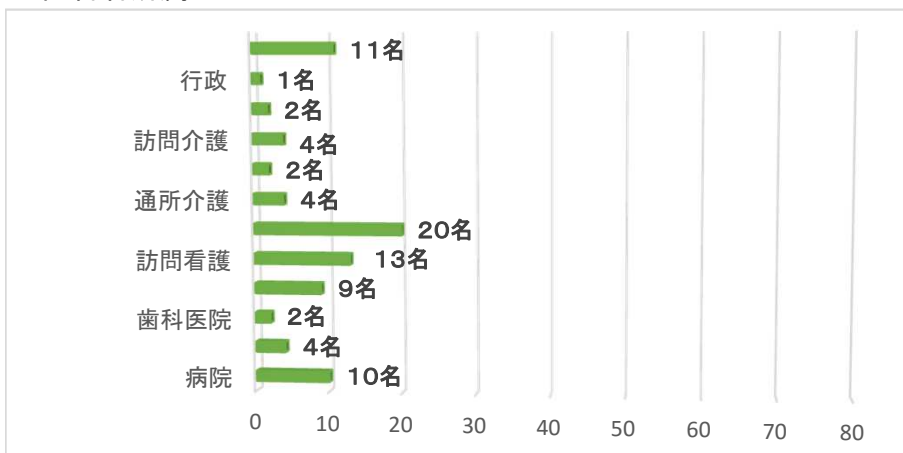
平成28年度「第2回 在宅医療・介護連携 多職種連携研修会」アンケート結果  
開催日：平成28年9月29日（木）

◎参加者：107名+一般1名（うち、アンケート回答者82名[回収率：76%]）

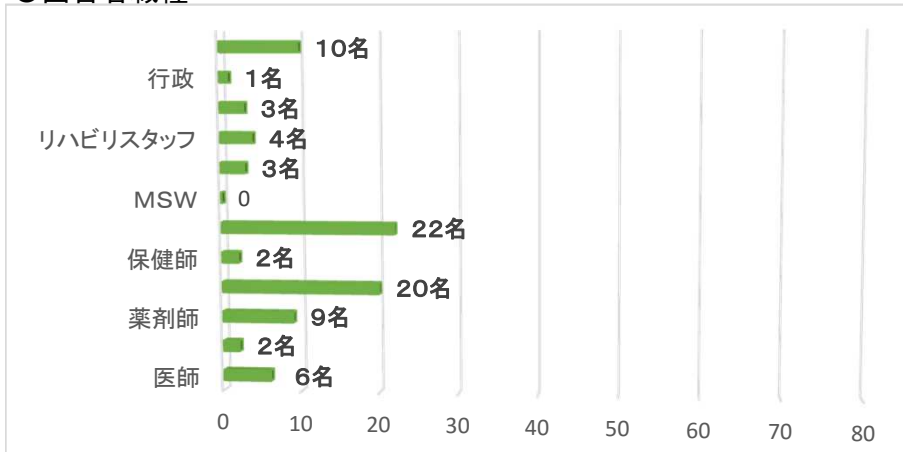
●回答者性別



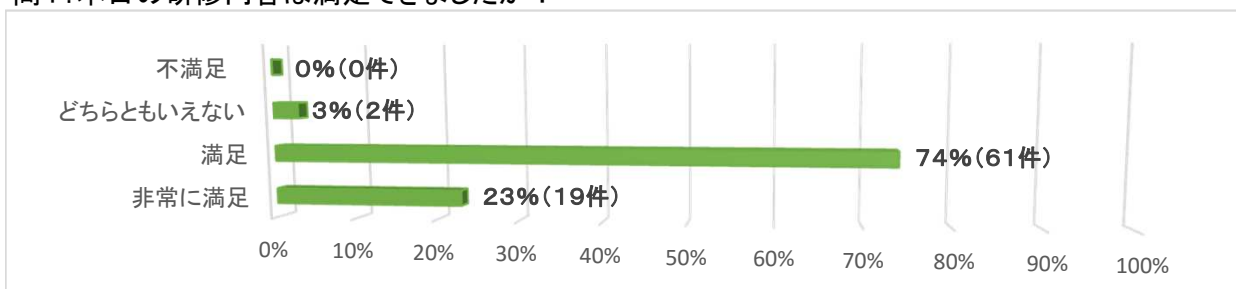
●回答者所属



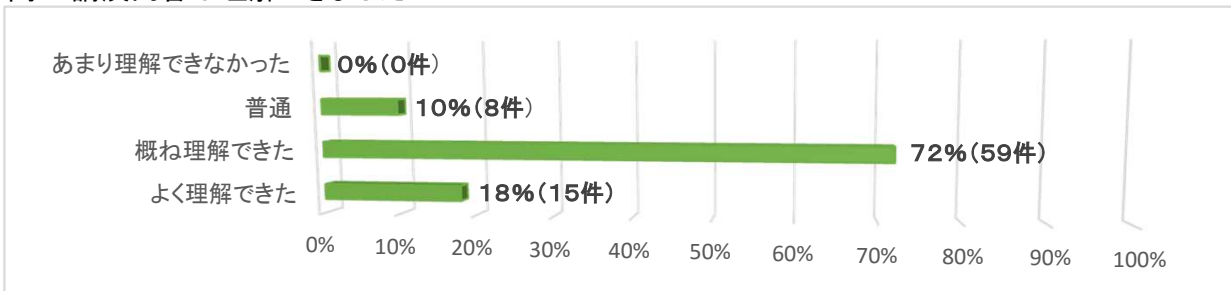
●回答者職種



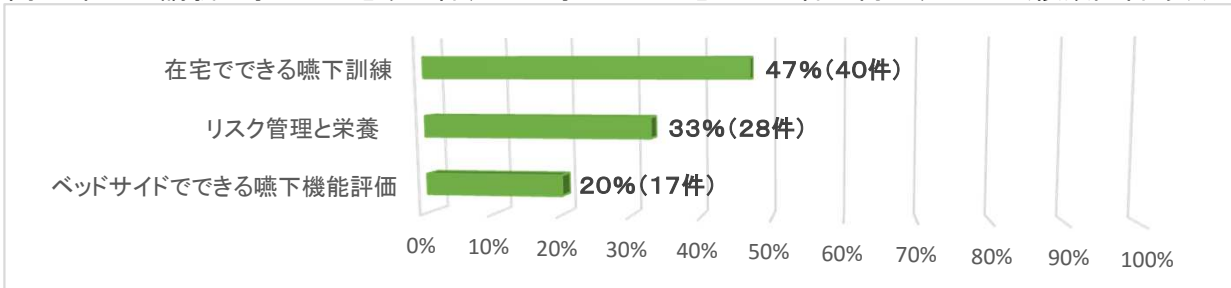
問1：本日の研修内容は満足できましたか？



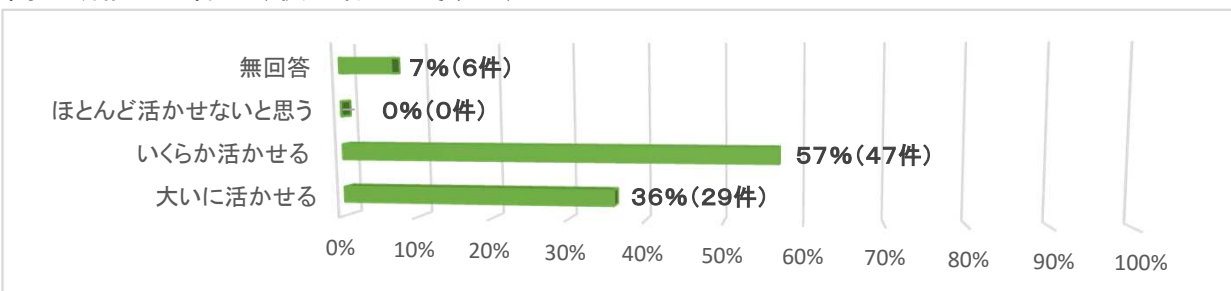
問2: 講演内容は理解できましたか？



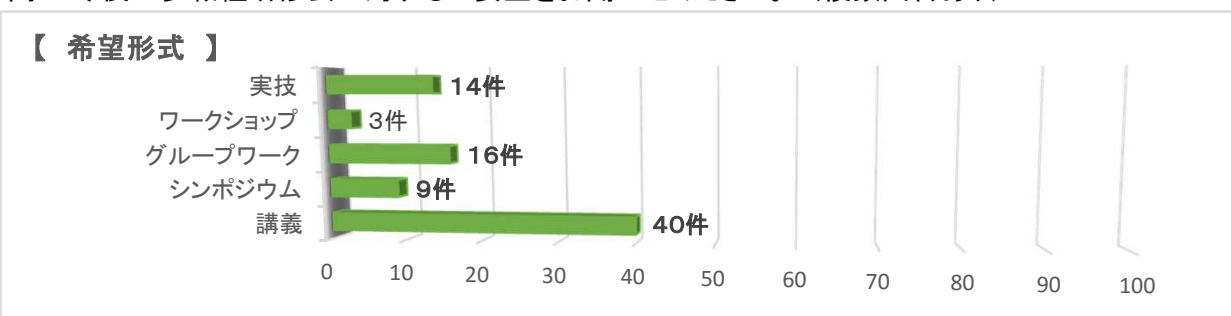
問3: 本日の講義で学べたと思う内容、もっと学びたいと思った内容は何ですか？（複数回答あり）



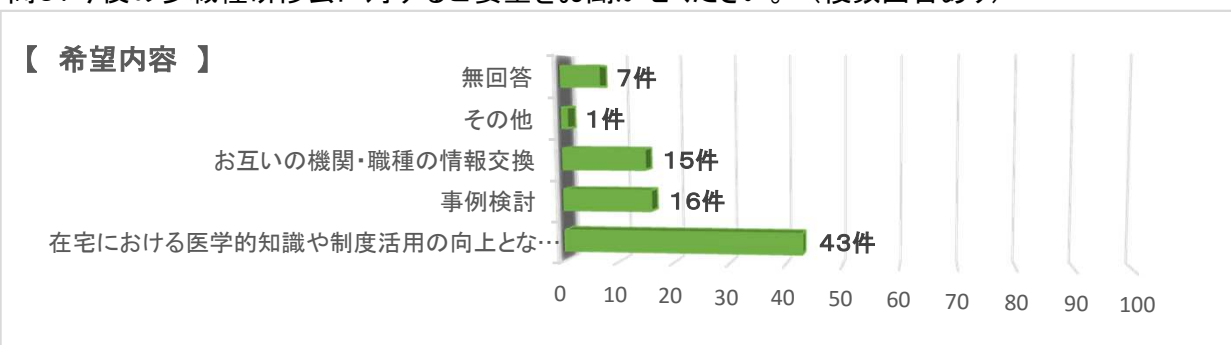
問4: 研修の内容は今後に活かそうですか？



問5: 今後の多職種研修会に対するご要望をお聞かせください。（複数回答あり）



問5: 今後の多職種研修会に対するご要望をお聞かせください。（複数回答あり）



## <その他の意見・感想>

- ・実践と学術的な話の両方が聞けて満足できた。(訪問看護リハビリスタッフ)
- ・現場の介護スタッフにも聞かたいと感じた。(介護支援専門員)
- ・嚥下訓練の実践は、すぐに活用できそうな内容でよかった。(介護支援専門員、看護師)
- ・誤嚥性肺炎や摂食障害の高齢者は大変多いのでよいテーマだと思った。(介護支援専門員、看護師)
- ・講義の内容が濃すぎた項目もあり、実践的な事をもう少しじっくりと学びたかった。(介護支援専門員)
- ・学んだことを通所で取り入れたり、スタッフの研修、教育に役立てたい。(通所リハビリ保健師)
- ・嚥下体操を通所での食前体操に活かしたい。(通所介護スタッフ、生活相談員)
- ・実践的、具体的な研修内容でよかった。
- ・食事に対する各専門職の方の意見、注意点などが把握できよかった。(薬剤師)
- ・嚥下障害の起きる前の段階で訓練が必要という事がポイントと感じた。(看護師)
- ・問題のあるケースを多職種のいろいろな目線で事例検討しえあるとよい。(看護師)
- ・嚥下機能評価の映像がとても興味深く学べた。(生活相談員)
- ・多職種間が同じ内容を学べることはとても良いことと思う。(介護支援専門員)
- ・不顕性誤嚥を見つけることの難しさや運動など改めて学べ参考になった。(介護支援専門員)

## <時間内にお聞きできなかった質問内容>

### 【 名古屋市立大学病院 リハビリテーション科 青山 公紀先生へのご質問 】

1. 具体的な評価法。
2. 在宅訪問時に行える方法。
3. むせない誤嚥の見分け方。

### 【 名古屋市立大学病院 摂食・嚥下障害認定看護師 吉田 佳代先生へのご質問 】

1. 退院時在宅に向けて手早くできる食品をどう入手できるか。  
安く購入できる市販の紹介(購入方法)。
2. 嚥下機能レベル毎のトロミのつけ方の評価。
3. 水分にとろみつけが必要方へのとろみの基準。
4. 投薬の仕方。
5. 在宅で身近に起きる事、できること等のQ&A

### 【 名古屋市立大学病院 言語聴覚療法士 若尾 佳代先生へのご質問 】

1. 具体的な訓練方法。
2. 認知症の方への嚥下機能低下・誤嚥予防について。
3. パーキンソン病や認知症など指示動作が難しい方への他動的訓練。
4. 麻痺がある方の食事摂取の体位。
5. 姿勢の崩れと嚥下の関連。